

アスベスト(石綿)について

問合せ 環境係 ☎89-2172

最近、アスベスト(石綿)による健康被害が社会問題化しています。アスベストとは、天然に産出する鉱物繊維で、耐熱性、耐薬品性、絶縁性などに優れているため、建設資材、電気製品、自動車、家庭用品などさまざまな用途に使用されてきました。アスベストは、太さ約0.02μm(髪の毛の5千分の1)程度で、肉眼で確認することはできません。微細な粉じんとなって飛散し肺に吸入されることで、健康被害(石綿肺、肺がん、胸膜・腹膜などの中皮腫)を引き起こす場合がありますといわれています。

◆飛散することが問題です

アスベストはそこにあること自体が直ちに問題ではなく、飛び散ること、吸い込むことが問題となります。日本では、昭和50年に吹き付けアスベストが規制されたのをはじめさまざまな法規により飛散防止と健康被害予防が図られてきました。

建築物に吹き付けアスベストが露出して使用されている場合、劣化などによりその繊維が飛散する恐れがあります。飛散防止対策として、①除去②封じ込め(アスベスト表面に固化剤を吹き付ける)③囲い込み(アスベスト表面を非石綿建材で覆う)などを行う必要があります。

◆建物解体時まで把握が必要

一般住宅などで使用されている板状に固めたスレートボードや天井裏・壁の内部にある吹き付けアスベストからは、通常の使用状態では室内に繊維が飛散する可能性は低いと考えられます。しかし、建物の改築や解体時に破砕などによって飛散する可能性があるため、事前に設計図書による調査や施工会社、大工さんに相談しアスベスト混合資材が使われているか把握する必要があります。

◆市の管理する施設の対策

市は、すべての施設で設計図書・目視による吹き付けアスベストの使用実態調査を行い、アスベストの使用が確認された場合には、安心して使用できるように対策を講じます。

○能代市の相談窓口

廃棄物の処理に関すること

衛生係 ☎89-2176

飛散防止など環境に関すること

環境係 ☎89-2172

○山本地域振興局の相談窓口

健康相談に関すること

健康・予防課 ☎52-4331

建築物に関すること

建築課 ☎52-6103

廃棄物の処理・飛散防止など環境に関すること

環境指導課 ☎52-4331

○能代労働基準監督署の相談窓口

労働衛生・労災補償に関すること

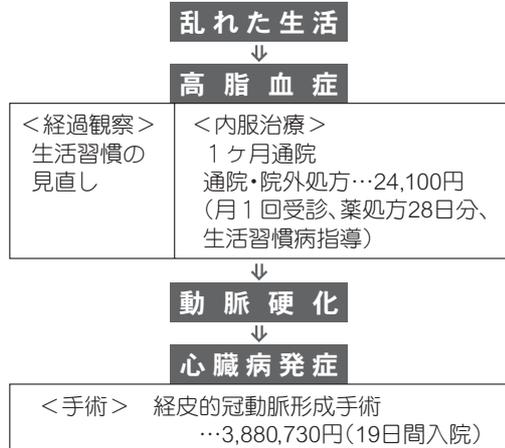
第二課 ☎52-6151

総コレステロール値をコントロールしましょう!!

15年度能代市の死因の2位は心疾患、3位は脳血管疾患で全体の28.5%を占めています。原因に高脂血症や高血圧症が大きく関係しています。高脂血症は長く続くと動脈硬化が進行し、ある日突然心筋梗塞や脳梗塞など命にかかわる病気を引き起こします。

統計的にも、総コレステロール値が高い人ほど心臓病を引き起こす可能性が高いことが分かっています。総コレステロール値を「ここまで下げる」という目標値は、合併症を持っている場合、個人によって変わることがあるので主治医に聞いてみましょう。

〈病気の進行と診療費の例〉



問合せ 健康増進係 ☎89-2159

10月3日から

乳がん検診が始まります

乳がんは40歳代から50歳代にかけて一番多発しています

○対象(18年3月まで)

40歳以上の女性で18年4月1日までに誕生日を迎えて偶数年齢(40、42、44、...歳)になる人

※奇数年齢の人は18年4月から対象

◎子宮がん検診・乳がん検診は、17年度から2年に1回の受診になりました。

偶数年齢の時に対象となりますが、同年の人が同じ年度で対象になるよう設定しています。

○検診方法:マンモグラフィ(乳房X線撮影)・視触診

40歳代:2方向から撮影

50歳以上:1方向から撮影

○料金

40歳代:1890円

50歳以上:1320円

◎対象年齢で乳がん検診をご希望の人は、総合Aコース・婦人科コースを申し込みください。

※10月以前に受診して、対象年齢であっても乳がん検診が受けられなかった人については、18年度も検診対象となります。

問合せ

保健センター ☎58-2838